

川のおまち

議会だより

187号

令和8年
8月27日発行

定例会6月会議

定例会6月会議	2 ページ
常任委員会審査	4 ページ
町政を問う！6人が一般質問	6 ページ
町民インタビュー	14 ページ

定例会 6 月会議

6 月 10 日～6 月 15 日

令和 8 年小野町議会定例会 6 月会議は、6 月 10 日から 15 日まで 6 日間の日程で開かれました。

会議では、令和 8 年度各会計補正予算、条例の一部改正など 18 件の町長提出議案と 3 件の報告案件、議員提出議案 3 件が提出され、議案は全て原案のとおり可決、承認となりました。

また、6 名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたきました。



▲本会議の様子

令和 8 年度一般会計補正予算

令和 8 年度一般会計並びに介護保険特別会計の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	7 5 3 9 万円	7 0 億 3 1 3 9 万円
介護保険特別会計	2 2 4 万円	1 3 億 9 4 1 1 万円

※ 1 万円未満切り捨て

◆主な補正内容

【歳入】

- ・社会資本整備総合交付金の増（1 3 2 5 万円）
- ・防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業支援金（3 1 3 7 万円）

【歳出】

- ・指定ごみ袋価格上昇分に係る町負担（1 0 2 万円）
- ・北ノ内・宮ノ前線整備工事費の増（2 5 0 0 万円）
- ・防災拠点設置事業防災倉庫設置工事費（2 7 9 8 万円）

条例の一部改正・廃止

一部改正 4 議案、条例廃止 1 議案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正

選挙長等の報酬について、改正後の国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に規定する額相当額とするため、単価を引き上げるものであり、公布の日から施行するものです。

◆小野町税条例の一部を改正

地方税法等の一部改正により、寄附金税額控除の特例控除の読み替え規定部分の改正及び公的年金等受給者の扶養親族等申告書の提出義務の見直し、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例の適用期限の撤廃のための規定の整備、住宅借入金等特別税額控除期間の 5 年間延長及び控除が適用となる居住年の 5 年間の延長、優良住宅の造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例の見直し、特定暗号資産取引に係る課税の見直しに伴う改正、固定資産税に係る家屋及び償却資産の免税点の引き上げなど、関係規定の整備を行うものです。

◆小野町国民健康保険税条例の一部を改正

子ども・子育て支援納付金に係る規定の追加及び国民健康保険税の課税限度額を引き上げるとともに、軽減措置についての低所得者に係る所得判定基準を改正するものです。

また、令和 8 年度の国民健康保険税の保険税率を変更するものであり、公布の日から施行し、改正後

の規定は令和8年度以後の国民健康保険税について適用し、令和7年度以前の国民健康保険税については、なお従前の例によるものです。

◆小野町介護保険条例の一部を改正

所得税制改正により令和7年度及び令和8年度市町村民税非課税の被保険者で、令和8年度の保険料段階が市町村民税課税者と判断される者に対し、令和8年度の保険料段階が市町村民税非課税者と同様となるよう特例減免を適用するものであり、令和8年度分の保険料に限り適用されるものです。

◆小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例を廃止

設備の故障により令和7年12月末から営業を休止しており、施設の今後の維持管理について検討した結果、継続して使用するにはボイラー設備の修繕のほか、エアコンの設置、建物や設備の老朽化に伴う大規模改修などに多額の費用を要することが見込まれることから廃止するものです。

契約締結

予定価格が700万円以上（不動産・動産の買入れ若しくは売払い）になるため、議会の議決を経て契約を締結するものです。

◆ベビーケアルーム設置業務契約の締結について

契約の方法…条件付き一般競争入札
契約金額…12,349,150円
契約先…福味商事株式会社

人事案件

◆小野町農業委員会の委員の任命に同意

農業委員会委員に、10名の方を任命することに全員賛成で同意しました。

（任期…令和8年7月20日から令和11年7月19日）

・國分 良明 氏	・佐藤 秀洋 氏
・先崎 照雄 氏	・田村 正広 氏
・大竹 正元 氏	・宗像 智 氏
・渡邊 静夫 氏	・先崎 義雄 氏
・渡邊 佳子 氏	・宗像 衛 氏

※提出議案番号順

報告事項

専決処分並びに予算の継続費及び繰越明許費繰越について、報告がありました。

◆小野町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

◆令和7年度小野町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について

◆令和7年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について

議員提出議案

3件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

【議案提出者…宗像 芳男 議員】

◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

【議案提出者…羽生 洋市 議員】

意見書提出先…内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

【議案提出者…橋本 善雄 議員】

意見書提出先…内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議長、参議院議長

7月第1回会議

7月10日に令和8年7月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

契約締結

予定価格が700万円以上（不動産・動産の買入れ若しくは売払い）になるため、議会の議決を経て契約を締結するものです。

◆小野町業務用PC購入契約の締結について

契約の方法…条件付き一般競争入札
契約金額…26,048,000円
契約先…有限会社印南電気

定例会6月会議 **ここが聞きたい** 質疑 常任委員会審査

総務文教常任委員会

総務課

問 特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の改正について、町長選挙、町会議議員選挙も適用となるのか。

答 適用される。

税務課

問 小野町税条例の改正について、特定一般用医薬品等は何が該当するのか。

答 詳細については、厚生労働省のホームページをご覧いただきたい。

問 防衛特別所得税及び復興特別所得税の比率根拠は。

答 国の所管事項であり、詳細は承知していない。

厚生産業常任委員会

健康福祉課

問 小野町介護保険条例の改正について、具体的にはどのように変わるのか。

答 税制改正により、市町村民税が非課税でも介護保険料の算定では課税とみなされる方を対象に、介護保険料の減額を行い、減額した分は、国の調整交付金として交付されるもの。

問 対象者への通知は、当初分と減免分の2段階で発出されるのか。

答 通知は一緒に発出される。



問 この減免措置はいつまで続くのか。

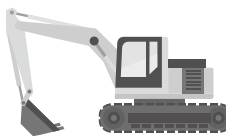
答 今回減額措置は令和8年度のみであり、次年度以降に影響しない。

問 小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例の廃止について、参考までに各自治体が所有している温浴施設で運用をやめている実態はあるのか。

答 田村市の星の村ふれあい館は3月で休止している。

問 解体費用の見込みは。

答 管理上施設をそのままにすることは危険なため、解体をしたい。費用は2,000万円から3,000万円を想定している。



問 入浴料の助成はいつまで実施するのか。

答 高齢者の福祉事業なので、1、2年ではなく、しばらくは続けたい。

問 コミュニティの場が町なかにあっても良いと思われるが。

答 新庁舎に町民ホールができるので、そちらを利用できると思われる。

問 施設を廃止し、代替えの入浴施設がないことをどのように利用者へ理解してもらうのか。

答 他の温浴施設を利用している人が多く、廃止することに対して特に意見などは出ていない。

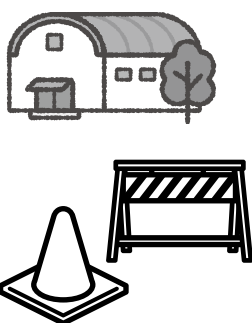


予算決算常任委員会

教育課

問 町民体育館雑用水給水ポンプ更新工事費は、当該施設2階トイレが使用できない原因を解消するための工事が。

答 お見込みのとおり。



審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。なお、採決には田村議長は加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	古 崎 泰 介	橋 本 善 雄	國 分 順 一	羽 生 洋 市	會 田 百 合 子	緑 川 久 子	先 崎 勝 馬	竹 川 里 志	宗 像 芳 男	水 野 正 廣	中 野 孝 一
定例会6月会議	町長	特別職の職員で非常勤のものの給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町老人憩の家設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和8年度小野町一般会計補正予算・介護保険特別会計補正予算 2件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ベビーケアルーム設置業務契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 10件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回会議 7月	町長	小野町業務用PC購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、予算関係議案は集約して掲載しています。個々の議案名は町のウェブサイトに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、10月下旬に町のウェブサイトに掲載予定の「会議録」をご覧ください。

緑川 久子 議員

7 ページ

- 1 部活移動中の磐越自動車道でのマイクロバス事故について
- ◆ 小・中学校の部活移動の安全対策について
- 2 中高年の運動器疾患と介護予防の取り組みについて
- ・福島医大のロコモティブシンドローム改善に向けたトレーニングアプリの活用について
- 3 新庁舎建設について
- ◆ 中東情勢の影響による新庁舎事業計画について

國分 順一 議員

8 ページ

- 1 一般行政について
- ◆ 特色ある町づくりについて
- 2 企業誘致について
- ・これまでの町の企業誘致の取り組みについて
- ・今後の町の企業誘致について
- 3 スクールバスの運行について
- ・低学年のスクールバスの運行基準について
- ・降車後について
- ◆ 乗車条件の見直しについて
- 4 情報発信について
- ・データ放送について

會田 百合子 議員

9 ページ

- 1 一般行政について
- ◆ 子ども・子育て支援金による住民負担増の問題について
- ・こども政策の適正化について
- 2 作詩コンクール楽曲制作事業について
- ◆ 楽曲「翔」～はばたく～の活用方法について

竹川 里志 議員

10 ページ

- 1 教育行政について
- ・スクールバス運行事業の現況について
- ・希望される生徒の乗車について
- 2 一般行政について
- ◆ スクールバスとデマンド交通を併用した取り組みについて
- 3 一般行政について
- ・地域おこし協力隊の現況について
- ◆ 地域おこし協力隊の「卒隊」の内容について

古崎 泰介 議員

11 ページ

- 1 小学校の学校生活について
- ・小野小へのスクールバス乗り入れについて
- ・児童と送迎等の車の導線について
- ・放課後子ども教室の場所について
- ◆ 放課後児童クラブ利用者が療育施設へ通所する際の対応について
- 2 空き公共施設の活用について
- ・小野中の空き教室について
- ◆ 小野小の空き教室について
- ・現・子育て支援課事務室の今後について
- 3 交流人口を増やす取り組みについて
- ・交差点の地点名標識について
- ・スポーツ・文化団体の情報について
- ・町の暮らしを体験する展覧会について
- ・地域おこし協力隊の受け入れと定着について

羽生 洋市 議員

12 ページ

- 1 一般行政について
- ◆ 役場職員の勤務実態について
- ◆ 行政区における担い手不足について





みどりかわ ひさこ
緑川 久子 議員

問

小・中学校の部活動移動の安全対策は

答

危機管理マニュアルを整備し
適切に対処している

問 磐越自動車道で高校生など21人が死傷したマイクロバス事故は、部活動に伴う移動手段の安全対策が急がれています。

県は、学校などの教育現場に国の定める「貸切バス選定・利用ガイドライン」を周知するなど、安全確保に向けた対策を強化する方針を示していますが、部活動などで移動する際の具体的な運用については、国の方針はなく学校や現場に委ねられています。保護者や学校の負担が重いことが指摘されていました。小・

中学校の部活動、及び校外活動の移動時の現状と安全対策を伺います。

教育長

磐越自動車道でのマイクロバス事故を重く受け止め、小・中学校

に対し、貸切バス選定・利用ガイドラインに沿った安全確保の徹底と無理のない行程作成を指導しました。運行委託事業者には運行管理状況の確認と事故防止の徹底を要請しています。

また、学校保健安全法に基づき、各校が危機管理マニュアルを整備し適切に対処しています。なお、中学校の部活動移動は家庭送迎を原則とし、注意喚起を行っています。今後も地域クラブ活動を含め、子供たちが安全・安心に活動できる環境づくりに努めてまいります。

問

新庁舎建設事業計画への
中東情勢の影響は

答

現時点では反映していない。
今後の物価高騰などを注視する

問 令和9年度末の供用開始に向けて建設が進められている新庁舎は、令和8年3月10日時点での概算事業費が、約34億4千万円と当初より約6億円増えています。概算事業費の増については、人件費や物価高騰の増、また、大幅な省エネルギーを実施するネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の導入などが見込まれていますが、まだ、この時点では中東情勢の影響は反映されていません。

先の見えない中東情勢は、更なる物価高騰や建築関係の資材不足などが懸念され、工事の進捗状況や財源面に大きな影響を及ぼすことが予想されます。概算事業費の見直しなど、今後の建設計画の見通しについて伺います。

新庁舎整備室長

新庁舎建設の概算事業費は本年3月時点で、当初計画より約6億円増の約34億4千万円となりました。庁舎建設費は当初の22億円から人件費・物価高騰の見込み分や、長期的な光熱費などの維持管理費節減を図るZEB化の経費分を増額した、26億6200万円に修正しています。

なお、この事業費には中東情勢による資材高騰などの影響は反映されていません。今年度後期に建築工事を発注予定ですが、今後の物価変動などを注視し、コスト削減や過疎債・緊防債などの財源活用を図りながら、町財政の負担抑制に努めます。



こくぶん じゅんいち
國分 順一 議員

問

何かに特化したまちづくりを進めるべきと考えるが

答

特色ある施策を展開し、まちづくりを進める

問

町に賑わいを見せるために何かに特化した町づくりを進め、それに対して施策を充実させ、交流人口、移住人口を増加させ特色ある町づくりをするべきと考えるが、町の考えを伺います。

町長

急速な人口減少に対し、町では持続可能なまちづくりのため、他自治体に類のない特色ある施策の展開により交流・関係人口の拡大や移住者増加、地域経済の活性化に努めます。

固定概念にとらわれず地域資源を活用し、住民



と共に知恵を出し合い施策を進めます。全国の成功事例を参考に、まずは「発酵のまちづくり」や耕作放棄地解消を目指した「栗の植栽」など、スモールスタートでも具体化を図ってまいります。さらに、健康づくり、安心で子育ての町づくりにも力を入れ、特色あるまちづくりをしっかりと進めてまいります。

問

スクールバスの乗車条件の見直しを検討するべきでは

答

効果的な運行の在り方を検討していく

問

スクールバスは学年によって乗車条件の距離が違っていい。乗車条件の見直しを検討するべきと考えるが、町の考えを伺います。

教育長

スクールバス運行の基本目的は、学校統合による遠距離通学者の便宜を図ることにあります。

本町では国の基準よりもかなり緩和しています。心情的には100メートルくらいは認めてあげたいと思いますが、それを認めると110メートルの人はどうなのか、120メートルは、といった話が出てくるのが想像できます。行政の立場では一定の線を引かざるを得ないことをご理解いただきたい。

再質問

子育て支援の観点から児童・生徒の安心・安全、保護者の負担軽減などを考え、今後はルートの見直しやワゴン車などの活用なども考えてはいいかがか。

教育長

スクールバスの基本的な目的は、学校統合によって学校までの距離が長くなり、通学が困難になる児童・生徒の通学の便宜を図ることにありますが、児童・生徒の安全・安心の確保、保護者の負担軽減などを考えることも必要かと思っています。

スクールバスの維持管理コストや児童・生徒、保護者間の公平性の確保も考えながら、議員ご提案のスクールバス運行ルートの見直しやワゴン車等の活用につきましても、例年行っている見直し作業に加えて、在籍する児童・生徒数の今後の変動なども踏まえながら検証を行い、運行業務に反映していきたいと考えております。



あいた ゆりこ
會田 百合子 議員

問

子ども・子育て支援金による
住民負担増の問題は

答

世帯構成や所得の状況にもよるが、
負担は増える

問 国民健康保険などの
公的医療保険に上乗せし
て徴収される「子ども・

子育て支援金」について、
制度の概要と被保険者の
負担増は、どの程度にな
るか伺います。

町民生活課長 子ども・

子育て支援金は、児童手
当の拡充やこども誰でも
通園制度などの財源とし
て、令和8年度から公的
医療保険料と合わせて徴
収されるものです。社会
保障の歳出改革による社
会保険料の負担軽減の範

囲内で導入することが法
律で定められています。

負担額は加入する医療
保険で異なりますが、国
民健康保険の場合、所得
割・均等割・平等割を合
算した額を国保税として
負担いただきます。参
考例として、前年所得
200万円の1人世帯で
は令和8年度の負担は年
額8,200円となりま
す。なお、今議会に支援
金に関連する条例改正議
案を提出しております。



問

楽曲「翔」〜はばたく〜の
活用方法は

答

学校や地域の合唱団などに広く提供するとともに、
各種イベントで積極的に活用する

問 作詩コンクールで応募された作品が完成品となりました
が、町としてどのようにPRして、周知して活用されていく
のか伺います。

教育課長

町制70周年記念事業で制作した楽曲「翔」〜は
ばたく〜は、作詩コンクール入賞の吉田明咲さんの作品に西
山謹司氏が補作詩を、小野小学校校歌を作曲した吉田卓矢氏
が作曲・編曲（合唱用・吹奏楽用）をしたものです。

今後の活用につきましては、町の公
式ウェブサイトで視聴できるほか、作
成した楽譜を学校や地域の合唱団など
に広く提供し、発表会や各種文化事業
で演奏してもらうことで、町への愛着
や郷土意識の醸成につながります。

また、公民館などの施設利用や各種
イベントで積極的に活用を図り、作詩
コンクール入賞作品の魅力を広く発信
してまいります。





スクールバスとデマンド交通を併用した 取り組みを推進すべきでは



最適かつ持続可能な交通手段を検討します



たけかわ さとし
竹川 里志 議員

問 少子化が進む旧村地区において、毎日半分近くの空席を抱えたまま固定化されたルートに大型・中型バスを走らせ続けることは、行政コストの面からも不経済と言わざるを得ません。他自治体の先行事例のように、現在の詳細な運行データをＡＩなどで分析し、利用希望がある日や場所に柔軟に対応できる「ワゴン車などによる予約制デマンド運行」へ移行すること、更には、高齢者の移動支援をも一体化させた「地域公共交通との住民混乗化」を推進すべきと考えるが、当局の見解を伺います。

企画政策課長 予約に応じて柔軟に運行されるデマンド交通は県内市町村でも導入されています。町では新たな交通手段の導入

検討に向けて実証運行を予定しており、現在準備を進めています。その検証結果や住民ニーズを踏まえ、町における最適かつ持続可能な交通手段を検討してまいります。その中で、スクールバス以外の公共交通の利用を希望する児童・生徒への安全・安心な通学の確保と支援についても、関係課と連携しながら検討してまいります。

再質問 国が支援を強化している集中対策期間を捉えて、スクールバス、デマンド交通を併用、統合した小野町型新公共交通ネットワークの構築へ舵を取るべきでは。

企画政策課長 新聞報道された交通空白地解消への送迎連携は、スクールバスや病院の送迎車両などを住民が利用できるような事業を創出する国の考えです。当町でも高齢者や町外高校へ通う生徒の足を確保するため、デマンド交通の実証運行を含めあらゆる交通手段を探り、地域住民の移動手段の確保に努めてまいります。



地域おこし協力隊の
「卒隊」を見据えた支援は



効果的な受け入れ体制の
構築に努める

問 先月の広報おのまち5月号に掲載された地域おこし協力隊の卒隊に際しての提言を受け、なぜ町内への定住が進まないかという原因に目を向け、今後の対策を考えてほしいという問題意識は地域の未来にとって重要です。

地域おこし協力隊の任期を終えた隊員が小野町に定住・定着し、安心して起業や就業ができるための町長の見解と今後の具体的な支援策を伺います。

町長 地域おこし協力隊が任期後に定住に至らない背景には、自立して生活をする見通しがつかないケースや受入れ側との考え方の相違など様々な事情があります。今までの状況などについてはコミュニケーションや体制構築ができていなかった面は否めません。

町としては今後、相違が生じないよう意思疎通を図り、地域の方との交流機会を設けるほか、自立に向けた支援などに取り組みます。また、ミスマッチ防止のため、総務省の「お試し地域おこし協力隊」や「地域おこし協力隊インターン」などの制度検討、アドバイザー派遣事業なども調査研究し、効果的な受入れ体制の構築に努めてまいります。



ふるさき たいすけ
古崎 泰介 議員

問

療育施設へ通所する際の対応は

答

児童を確実に受け渡せる 体制づくりに取り組む

問 認定こども園においては、療育施設による送迎に対し職員が対応しています。しかし、「キラッと☆おの」を利用する放課後児童クラブ利用者が療育施設へ通所する場合にも同様の対応ができるのか伺います。

子育て支援課長 認定こども園から町外にある療育施設への園児の通所については、安全面などの理由により認定こども

園の職員が施設間の園児の受け渡しの対応をしています。

共働き世帯の増加や支援のニーズが多様化する中、療育を必要とする児童が安心してサービスを利用できる環境や保護者の負担軽減を図ることは大変重要です。このため、他自治体における事例や認定こども園における運用方法なども参考にしながら、安全確保対策を最優先に検討し、療育施設の職員が「キラッと☆おの」に送迎に来た際に児童を確実に受け渡せる体制づくりに取り組んでいきたいと思っています。

問

小野小の空き教室を利用してランチルームを導入しては

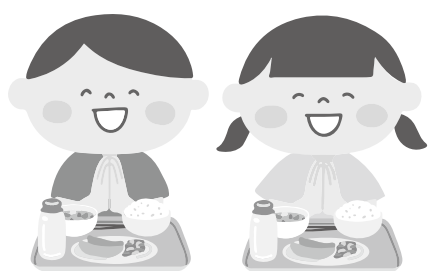
答

様々な課題から設置は難しい状況

問 小野小学校の空き教室の活用方法として、認定こども園のランチルームの実例を参考に給食の時間に食堂として利用することを提案しますが、町の考えを伺います。

教育課長 小学校におけるランチルームの設置は、児童が交流を深める場として有意義であると認識しております。しかしながら、小学校には空き教室はなく、特別な支援を要する児童の個別の指導教室や会議室などとして全ての教室を使用している状況であります。

また、小学校では黙食による給食指導を継続しております。さらには、複数年が混在するランチルームでは、正確な配膳管理や食育指導のほか、アレルギー対応や残食の把握が困難であると考えられます。このような課題から設置は難しい状況ですが、学校給食以外の教育活動において交流活動の充実に努めてまいります。





役場職員の勤務実態は



デジタル技術の活用を含め業務の効率化や改善に向けた見直しを進める



はにゅう よういち
羽生 洋市 議員

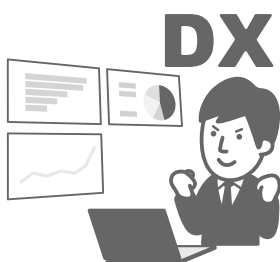
問 高齢化社会がさらに進み、独り暮らしの世帯が多くなれば職員の業務も増え、対策検討もままならない状況が想定されます。DXや公文書制度の見直しなどの導入による現在の役場職員の負担状況はどう変わり、事務の効率化は図られてきたのか伺います。

総務課長 職員の超過勤務時間を令和6年度と昨年度を比較しますと、一定程度の減少は見られますが、単純に比較できない面があります。業務の改善、効率

化に向けての取り組みとしましては、昨年度は、働き方改革をテーマとした職員研修やDX推進計画の策定を進めました。今年度は、その計画に基づきまして、デジタル技術の活用を含め業務の効率化や改善に向けた見直しを進め、そつした取り組みを通じて役場全体の業務の最適化を図ってまいります。

再質問 令和6年9月会議の同僚議員からの質問以降、これまでに自己都合で退職された職員は何人いるのか。

総務課長 記憶で申し上げますと、1名であったと思います。



行政区における 担い手不足への対策は



地域運営組織の立ち上げも含め、 持続可能な行政区の在り方について進める

問 小野町も他地域と同様、確実に高齢化が進んでいます。独り暮らしの世帯も増加し、次の担い手が不足している行政区も発生しています。行政区の担い手不足が現在以上に拡大する前に、町としてどのような対策を考えているのか伺います。

総務課長 各行政区における役員の成り手不足は、行政区長の集まる会合での話題としまして聞き及んでいるところです。町では、隣組長手当の口座振り込みや配布物のスリム化など、行政区長の負担軽減策にも努めています。また、集落機能が低下している場合の一つの解決策として、地域運営組織の立ち上げがあります。町としましては、そのような方法も含め、様々な事案を研究しながら地域住民との合意形成を図り、持続可能な行政区の在り方について前向きに進めます。



議会活動トピックス

防災資機材の内容と管理状況を確認(6月11日)

避難所の生活環境改善を目的に、国の交付金を活用して昨年度購入した防災資機材について、町民生活課から内容や使い方の説明を受けました。

導入された資機材は、災害時だけでなく平常にも有効活用されます。具体的には、学校や文化体育施設での使用をはじめ、町民の皆さまや自主防災会への貸し出し、地域イベント、避難所の設営訓練や防災教育などに幅広く役立てられる予定です。

議会としても、こうした資機材の活用を通じて町民の皆さまの防災意識向上につなげ、本町のさらなる防災力強化に努めてまいります。



可搬式給水タンク



高齢者・要支援者避難車両

町村議会広報研修会(7月1日)

町民の皆さまに、もっと親しまれる「おのまち議会だより」を目指し、広報編集委員会の委員8名が編集の研修会に参加しました。

基礎的な編集技術や著作権の知識に加え、「どうすれば分かりやすく伝わるか」という実践的なテクニックを学んでいます。さらに「議会クリニック」として、本町の議会だより185号の紙面に対する具体的なアドバイスもいただきました。

この貴重な学びを、今後のより魅力的な議会だよりづくりへとつなげてまいります。



研修会の様子

中学生議会(8月3日)

これからの小野町を担う中学生たちに、地方自治や議会の役割を肌で感じてもらうための「中学生議会」が開催されました。

当日は、小野中学校の生徒7名（議長1名・議員6名）が登壇して一般質問を行いました。中学生ならではの柔軟な発想と視点で、今後のまちづくりに向けた活発な意見が出され、大変頼もしい姿を見せてくれました。なお、当日の詳しい内容につきましては、次号の議会だよりでご紹介します。



中学生議会の様子



町民インタビュー

熱意と挑戦で
未来を拓く



荒谷 瑞穂さん

出身：浮金

■小野町での就農について

6年前、小野町浮金に戻り就農しました。地域の耕作放棄地が増えていく様子を見て、「私にできることはないか」と感じたことがきっかけです。

■ピーマン栽培に至る経緯

当初はイチゴ栽培を検討していましたが、小野町の日照時間や気温の低さ、暖房費のコスト面から厳しいと判断し、ピーマン栽培を選びました。普及所やJAの指導を受けつつ、YouTubeなども活用しながら5アールの露地栽培からスタートしました。JAピーマン部会のマイスターを務められていた五十嵐さんからご指導をいただいたり、先輩農家さんからアドバイスをいただいて、少しずつ農家としての歩みを進めてきました。温度管理は複数の天気予報を見比べていますが、浮金地区は予報より2～3℃低いいため、春先は特に朝方の低温対策に注力しています。

■フロンティアファーマーズで紹介

郡山市の「フロンティアファーマーズ」で紹介していただいたご縁で、料理家の栗原はるみさんの番組に出演する機会をいただきました。

■小野町で就農を目指す方へのアドバイス

就農を考える際、できるだけ失敗をなくするためには事前のリサーチと勉強がとても大切だと思います。今回ビニールハウスを増設したのですが、最初のハウスでの問題点を踏まえ、温度管理や低温対策として内張りを行いました。初めてハウスを建てる際にしっかりリサーチをして必要な設備を十分に検討する時間を持てなかったことが悔やまれます。情報収集力、人との繋がりの大切さを日々実感しています。

■小野町の高齢化

小野町でも高齢化が確実に進んでいます。実行性のある対策をたてることが急務であると感じています。



吉田 政美さん

出身：上羽出庭

■農業への歩みと「ミネラル野菜部会」の発足

高校卒業後、農業の専門学校を経て22歳頃から農業を始めました。若い頃は民間企業での勤務も経験し、当初はトマト栽培からスタートしました。平成25年には吉田政美さんを代表として、「中嶋農法」に取り組む農家の有志が集まり「ミネラル野菜部会」を発足させました。

■青森のんにくとの出会いと「ペルサルーテ」誕生

平成27年、6次産業化も見据えて小野町と気候の似た地域の農産物を模索する中で、栽培条件が合う青森県のんにくに注目。試行錯誤で栽培を開始し、部会会員全員で青森県田子町へも視察に訪れました。その後、にんにく栽培を通じて平成29年に12名の会員が集い「生産組合ペルサルーテ」が誕生し、黒にんにくの販売を開始しました。

■話題を集めた黒にんにくのこだわり

福島県のテナントで販売した際、新聞社に取り上げられたことでFAXの注文が鳴り止まないほどの反響を呼びました。吉田さんをはじめ、ペルサルーテの会員が作る黒にんにくは、土づくりに徹底的にこだわり、種を蒔いてから販売まで約1年の月日をかけ、熟成・発酵には保温器により約21日といった多くの手間と愛情を惜しまずかけて作られています。現在は黒にんにくの各種グッズを開発し、小野町のPRにも尽力されています。

■銘柄米「里山のつづ」献上米への選出

稲作についても10ヘクタール（10町歩）を作付けしており、今年の11月下旬に皇居で行われる新嘗祭（にいなめさい）の献穀者に選ばれ、新聞でも報道されました。吉田さんは「大変名誉なことである」と喜びを語られています。



【取材を終えて】

今回の取材を通して、何事にも一生懸命に向き合われる荒谷さん・吉田さんの熱い姿に心から感動しました。
(議会広報編集委員 羽生洋市)

議会活動日誌

5月

- 5月 8日 福島空港活性化推進協議会（玉川村）
- 11日 月例全員協議会
総務文教常任委員会
教職員管理職歓迎会
- 12日 県町村議会議長会理事・監事合同会議（福島市）
小野町商工会 第67回通常総代会
- 13日 県南地方町村議会議長会総会（白河市）
- 15日 第39回小野町長杯ゲートボール大会
小野町観光協会総会
- 17日 ふるさと小野町会総会（埼玉県戸田市）
- 19日 百歳賀寿贈呈式
- 22日 議会改革特別委員会
- 24日 福島県剣道連盟小野支部剣道大会
高柴山山開き・祭典執行
- 25日 例月出納検査
小野町水防協議会
- 26日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都千代田区）
- 28日 田村地区交通安全協会定期総会（田村市）
- 29日 第39回異業種交流会総会

6月

- 6月 1日 定例会6月会議議会運営委員会
定例会6月会議全員協議会
- 2日 福島県町村議会議長会第1回定期総会
郡山法人会小野支部報告会
- 7日 矢大臣山山開き・祭典執行
- 10日 定例会6月会議（本会議）・常任委員会
- 11日 予算決算常任委員会
福島県郡山合同庁舎完成記念式典（郡山市）
定例会6月会議（一般質問）
- 12日 定例会6月会議（一般質問）
- 15日 定例会6月会議（本会議）
月例全員協議会
- 18日 小野町石材組合第46回定期総会
- 19日 小野町シルバー人材センター総会
- 21日 第22回福島県消防協会田村支部幹部大会（田村市）

- 25日 例月出納検査
- 26日 議会改革特別委員会
総務文教常任委員会
- 27日 八重山祭り in 小野町

7月

- 7月 1日 町村議会広報研修会（郡山市）
- 2日 たむら地方観光連絡協議会総会（三春町）
- 3日 平田村議会との意見交換会（平田村）
- 6日～8日 総務文教常任委員会行政調査（千葉県・茨城県内）
- 8日 小野町交通安全対策協議会
小野町青少年育成町民大会
- 10日 7月第1回会議議会運営委員会
7月第1回会議全員協議会
7月第1回会議本会議
月例全員協議会
厚生産業常任委員会
議会広報編集委員会
- 13日 郡山地方広域消防組合議会第1回臨時会（郡山市）
公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
- 14日 町村議会議長会理事・監事合同会議（福島市）
町村議会議長会定期総会議決事項に係る県への要望活動（〃）
- 15日 小野町更生保護女性会「朝のあいさつ運動」
- 15日～17日 厚生産業常任委員会行政調査（岐阜県内）
- 21日 農業委員会委員任命辞令交付式
- 22日 田村地区防犯協会連合会総会（田村市）
- 23日 例月出納検査
- 23日～24日 決算監査（現地）
- 24日 県南地方町村議会議長会連絡協議会研修会（矢吹町）
- 28日 会津坂下町議会新庁舎建設検討特別委員会行政視察受入れ
- 30日～31日 郡山地方広域消防組合議会議員行政視察（岩手県内）

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員がお伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会からのお知らせ

定例会 9 月会議は

9月3日(木)から開会します。

一般質問は9月4日(金)の予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。

- 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子は、YouTubeでのライブ配信を行います。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(☎0247-72-6930)

令和8年
8月27日発行

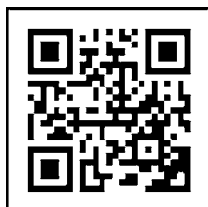
187号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒963-1349
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻

☎0247-721693
092

QRコードから
アクセス
してください



より多くの皆さんに「おのまち議会だより」
をお届けできるよう、スマートフォン用無料広
報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。
ぜひ、ご覧ください。

スマホ用アプリ
マチイロで配信しています！

表紙の写真

6月27日、小野運動公園で「八重山祭り in 小野町」が開催されました。永田団長を中心とした若手有志で活動する「小野町活性団」が地域活性化を目指して主催し、今年で3回目を迎えました。表紙を飾るのは、活性団の皆さんが自らの手で制作したジンベエザメとヤシの木のミニユメントです。台風の影響が懸念された当日は、数多くの出店や迫力あるライブ・エイサー踊りで会場が熱気に包まれ、6,000人を超える来場者で賑わい、小野町で南国を感じられた素晴らしい一日となりました。

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	中野 孝一
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	會田百合子
委員	羽生 洋市
委員	國分 順一
委員	橋本 善雄

小野町議会広報編集委員会

委員 先崎 勝馬

毎年健康づくりに関する事業を実施しておりますが、自分の体は自分で守りましょう。

健康十訓

- ・小肉多菜
- ・少塩多酢
- ・少糖多果
- ・少食多噛
- ・少衣多浴
- ・少車多走
- ・少憂多眠
- ・少憤多笑
- ・少言多行
- ・少欲多施

あとがき



おのまち議会だよりは、
環境にやさしいインキを
使用しています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページも
ご覧ください